

9月 定例会 代表質問

9月18日(水)



京都府議会
代表質問動画はコチラ



01 SRHRの取組について

⇒ **質問** プレコンセプションケア推進の意義と今後の方向性について

答弁 予期せぬ妊娠を防ぎ、望む妊娠を叶える観点から、相手の意思を尊重し、良好な人間関係を構築するSRHRの考え方を基本として、性や妊娠に関する科学的な知識を身に付けるプレコンセプションケアの取組を進めることが重要である。



⇒ **質問** SRHRの普及啓発における今後の取組について

答弁 医療・保健・教育・企業等の関係者と協働して、普及啓発を図りたい。今年度作成する高校生向けの教育プログラムに、SRHRの考え方を盛り込む予定。今後は、プレコンセプションケアを推進し、支援団体や大学、企業とも連携したセミナーの開催を検討する等、一層の普及啓発を図っていく。

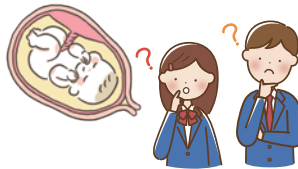
⇒ **質問** 「性と健康の相談センター事業」について

答弁 若年層が相談しやすい窓口の設置、幅広い悩みに対応するための相談体制の強化、類似の相談窓口の統合等、京都市とも連携して検討を進める。



⇒ **質問** 低出生体重児に関する妊娠前の取組について

答弁 低出生体重児の出産や先天性疾患の発現については、妊娠前から、葉酸などのビタミンをしっかり摂取し、喫煙や飲酒を避け、生活習慣を整えることが必要で、高校生向けのプレコンセプションケア教育プログラムに盛り込み、啓発をしていきたい。



プレコンセプションケア

将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

SRHR

「セクシャルリプロダクティブヘルスライツ
(性と生殖に関する健康と権利の保障)」

02 災害時における命を守る施策について

⇒ **質問** 地震防災対策の方針と今後の見直しについて

答弁 花折断層帯やその他の10断層についての被害想定の見直しを進めている所であり、今年度新たに地震対策専門家会議を立上げ、市町村と連携して被災以前のコミュニティの確保など、地震防災対策全般について検討していきたい。



⇒ **質問** 命を守る避難所から生活を守る仮設住宅への移行について

答弁 応急仮設住宅について、周辺道路やライフラインの整備状況等を調査し、約千か所の候補用地を把握し、準備をしているが、能登半島地震の整備事例を参考にし、確保の実効性をさらに高めていきたい。

MIKKO NOTES 今回の 代表質問への 思い

今回の代表質問は、池田裕美枝医師を講師にお招きしたSRHRの勉強会の内容を盛り込み、又、コンドーム伝道師と呼ばれる元保健体育教諭の清水美春さんの「びわこんどーむ・プロジェクト」の紹介等、恥ずかしいとか、タブーとか、わきまえるとか、私が女性として感じてきたあらゆる壁を乗り越えた若い女性たちの思いを受けながら、京都からのSRHRの発信は、日本と言う国へのチャレンジである。との思いで、知事に質問をさせていただきました。

今回の質問を聞かれた皆さんより
様々なご感想をいただいております!

府民の一声を田中議員に取り上げていただき、京都府も真剣に対応してくださったと感謝です。

SRHR、プレコン、包括的性教育、妊娠SOS、妊産婦生活支援援助事業など多くの内容を組み込んでいただき、ただただ感動して聞いておりました。

私が言いたいことをずばり的確に言ってもらった!と感じました。ありがとうございました。

今、SRHRの概念を京都から発信することは、日本という国へのチャレンジ 田中議員の言葉にグッときました。京都から!行くぞー!

感動しました、泣きました。

府民の思いを代弁してくれる人が議員さんなのだ今日痛感しました。

こんなにSRHRという言葉が出てくるなんて… 私が助産学生の頃(1990年代)に授業でSRHRについて学び、それが当たり前になるんだ!私たちが広げるんだ!と意気込み25年。私にできる範囲でコツコツと草の根活動を続けてきましたが… うれしー!こんな日がくるなんてありがとうございます! 京都に住んでよかったです。